

# KOKUSHIKAN

## GENERAL INFORMATION

### 2024



国士館要覧

# 2024

# 建学の由来と理念

日本は明治維新後、西洋文明を積極的に受容し、社会の近代化を急速に推進してきました。このため社会はおおいに伸張を遂げましたが、あまりに急激な近代化であったため、伝統文化を破壊し、軽視する風潮さえ生じました。日露戦争後には、国内問題が悪化し国民意識が変化するなかで、さまざまな社会問題が発生し、深刻な社会不安が引き起こされました。

このような当時の社会状況を憂い、柴田徳次郎ら有志は、日本の「革新」をはかるため、「社会改良」と「青年指導」を目的として1913(大正2)年「青年大民団」を組織し、1917年、「活学を講ず」の宣言とともに、私塾「国士館」を創立するに至りました。

創立者たちのねらいは、吉田松陰の精神を範とし、教学の適地として世田谷の松陰神社隣接地に学舎を建設し、「国士館設立趣旨」でうたわれているように、日々の「実践」のなかから心身の鍛錬と人格の陶冶をはかり、国家社会に貢献する智力と胆力を備えた人材「国士」を養成することになりました。

以来、「国士」養成を理念として、学ぶ者みずからが不断の「読書・体験・反省」の三綱領を実践しつつ、「誠意・勤労・見識・気魄」の四徳目を涵養することを教育理念に掲げ、さまざまな分野で活躍する人材を世に輩出してきました。

今日、国士館は、このような建学の志を大切に継承しながら、新たに発展を遂げた研究教育の諸領域でも、知識と実践の水準を高めつつ、世界の平和と進運を目指し、現代社会に積極的に貢献する真摯な努力を続けています。

## 国士館館歌

作詞 柴田徳次郎  
作曲 東儀鉄笛

一、霧わけ昇る陽を仰ぎ

梢に高き月を浴び  
皇国に殉す大丈夫の  
ここ武蔵野の国士館

二、松陰の祠に節を磨し

豪徳の鐘気を澄す  
朝な夕なにつく呼吸は  
富嶽嵐の天の風

三、区々現身の粗薪に

大覚の火を打ち点し  
三世十方焼き尽す  
至心の焰あふらばや

# 建学の精神

日本の将来を担う、国家の柱石たるべき眞智識者「国土」を養成する

## 教育理念

「国土」養成のため、四徳目「誠意・勤労・見識・気魄」を兼ね備える教育を行う。

「誠意」とは、真心と慈悲の心で、世のため、人のために尽くすこと

「勤労」とは、向上心を持って、誠実に仕事をする事

「見識」とは、道理のもと、物事を見抜く力をもつこと

「気魄」とは、信念と責任を持って強い心でやり通す力のこと

## 教育指針

四徳目を備えるには、不断の「読書・体験・反省」を実践し「思索」すること。

「読書」とは、善き書物に学び、世の中や自然界の真を理解すること

「体験」とは、智慧を持って善悪を判断し、善なる判断を実行すること

「反省」とは、何事も行った後、その行為を省みること

「思索」とは、省みた内容を検討し、次なる目標を立案すること

### 「建学の精神」現代的表現

「物質文明」を統御する「精神教育」を重視し、「心身の修練」と「知徳の精進向上」を目指し、国家社会の将来を思い、世界の平和と国家社会の改革向上に貢献する人材、即ち「国を思い、世のため、人のために尽くせる人材『国土』の養成」を目指す。

### 「国土」現代的表現

深く日本の将来を考え、国の常識に基づいて、世のため、人のために尽力する紳士・淑女、即ち「誠意・勤労・見識・気魄」の四徳目の涵養に努め、如何なる威武にあっても、如何なる誘惑にあっても、智力と胆力を持って、私心を棄て公のために資する、見識ある平衡を得た常識人・人格者を言う。

## 2024 国土館要覧

# CONTENTS

### 目次

- 02 ごあいさつ
- 04 データで見る国土館
- 06 TOPICS
- 07 FUTURE VISION
- 08-13 データファイル2024
- 08-09 基礎データ
- 10-11 国際交流/就職実績
- 12-13 研究実績/財務状況
- 14 組織
- 15-17 キャンパス・施設概要
  - 世田谷キャンパス
  - 町田キャンパス
  - 多摩キャンパス
  - 国土館楓の杜キャンパス
  - 多摩南野キャンパス
- 18-21 歴史
  - 18 創立者
  - 19 年表
  - 20-21 設置学校の変遷

## 学園章 全学の総意で決めた「楓」

国土館が麻布筈町から、世田谷の松陰祠畔に移ったのは1919(大正8)年。その前年、国土館創設の同人たちは揃って松陰神社に詣でています。激動の幕末期、思想家、教育者として峻烈な生きざまを貫き通した吉田松陰に寄せる彼らの崇敬の念は篤く、新生国土館を松下村塾の系譜を継ぐ学塾に育て上げたいと請い願ったのです。

社の境内には大和魂を表する桜樹と、松陰の熱き血潮を彩った楓の古木があります。国土館高等部(現在の大学の前身)建学式の朝、創立者の柴田徳次郎は、朝日を受けて真紅に映える楓を見て松陰の赤心に思いを致し、楓を校章にと胸中ひそかに意を決したといひます。1920年の春、その思いを国土学生会(学生の自治組織)に諮り、学生会もまたこれに賛同し、全学の総意によって、校章は「七生報国の士を象徴する七片の楓葉」と決まったのです。



## コミュニケーションマーク

地球を意味する円弧に歴史と将来への希望を表すエレメントが交差して、英文表記の「Kokushikan」のイニシャル「K」を象徴しています。多くの人間が集い、その文化や知識、技術が「活発に交流」し、活気に溢れた国土館となるよう、社会に向かって開かれた学園、オープンでグローバルな学園のイメージを表現しています。カラーは、深紅の楓にも由来し、「情熱」や「喜び」を表すオリジナルカラーの「国土館レッド」です。1997(平成9)年の創立80周年記念事業の一環として制定されました。



Kokushikan

# ごあいさつ

国士館は1917(大正6)年に私塾「国士館」として創立し、1958年に国士館大学を創設して以来、皆様からの厚いご支援により、大学7学部・大学院10研究科および高等学校、中学校を擁する総合学園として発展してまいりました。

「国を思い、世のため、人のために尽くせる人材『国土』の養成」を旨とする建学の精神は、創立から107年目を迎えた今もなお、本学園の教育活動の指針として貫かれています。「人と社会に貢献すること」つまり「他への献身」は、創立者の柴田徳次郎先生が深い愛情をもって教えを説く姿から、当時学生であった私自身が学んだことであります。本学が教育理念とする「誠意・勤労・見識・気魄」の四徳目を掲げ、人材育成の要諦とした創立の趣旨を、時代に応じた教育活動に昇華させていくことが、継承する私たちの使命であると考えます。

私たちを取り巻く社会には、多発する自然災害や長引く紛争など世界的な規模での課題が山積しています。本学は独自の強みや特性を発揮し、自ら課題を見だし解決に向け奮励する人材を育成するためのさまざまな取り組みを進めています。

とりわけ中学・高校・大学と一貫して取り組む防災教育は、2011年に発災した東日本大震災を機に開始しました。各地で自然災害が多発し、地域防災対策の見直しと災害に関する正しい知識の重要性が高まるなか、自然災害の発生メカニズムや地域の自然環境を知り、地域・社会の安全に役立つ人材、進んで自助・共助を实践して公助につなげる人材の育成に注力しています。防災を含め、課題解決に向けた地域社会をフィールドとした教育研究活動はさらに広がりを見せており、自治体や地域との連携強化を図りながら、教育研究成果の還元にも、引き続き取り組んでまいります。

本学園は110周年記念事業の一つとして第2次中長期事業計画にキャンパス環境整備事業の推進を掲げております。本年4月には、世田谷キャンパスの既存建物の建て替えを中心とした3期・10年にわたる整備事業の基本構想を策定し、公表しました。第3次中長期事業計画では、この基本構想をもとにした具体的計画を示し、社会の負託に応え得る人材輩出の拠点づくりを進めてまいります。

桜の開花が進む令和6年4月1日、入学式会場(パシフィコ横浜)周辺は、スーツ姿も初々しい3,231名の新入生や、祝福するご家族の歓喜で溢れていました。緞帳が上がり、国歌斉唱から始まる式典は、人生の節目となるにふさわしい凜とした厳粛な空気に包まれていました。新入生一人ひとりの清々しく、かつ期待に満ちた姿に接し、教学をあずかる者として、皆が、最良の学生生活の下で、「尚志張胆」=高邁な意志により、大願を成就されることを願わずにはいられません。

時宜を得て、本学では今年度から「全学共通教育科目」(以下、共通教育科目)を開講しました。共通教育科目は①人間と社会について考える ②サイエンスと情報について考える ③スポーツ・健康・芸術について考える ④グローバル社会に対応した外国語を学ぶ そして、コア科目として⑤「国士館を学ぶ」の5つの科目群で構成されます。この共通教育科目を専門科目と並行して全学年を通して修学することで、文系・理系の垣根を越えて、広く学ぶことの意義と面白さを修得させます。さらには学生時代にとどまらず、生涯学び続ける意義、既存の答えでは解決できない予測不可能な状況下にあっても、裾野の広い教養力によって、自分の力で最良の答えを導き出す「課題解決型人材」の養成を目指します。加えて、全学必修科目とする「国士館を知る」では、今年創立107年を迎えた国士館の歴史と伝統を学びながら、国士館教育の真髄である四徳目「誠意・勤労・見識・気魄」の涵養により、建学の精神である「国を思い、世のため、人のために尽くせる人材」=「国土」の養成に努めます。

共通教育科目の修得により、「誠意・勤労・見識・気魄」が錬成された国士館大生が幅広い知識と深い洞察力、自分とは異なる考えにも耳を傾けながら問題への的確な答えを導き出す寛容力などをまとい、「課題解決型人材」として世界に羽ばたくことを念じて、不断の努力に傾注してまいります。

## 学校法人国士館 理事長

### 大澤 英雄

おおさわ ひでお



1936年北海道生まれ  
1960年国士館大学体育学部卒業  
1960年本学に入職。1981年体育学部教授、1992年から2001年まで同学部学部長、2003年から2006年まで国士館大学学長  
2006年本学名誉教授、学校法人国士館常任理事、2008年学校法人国士館副理事長を務め、2009年4月学校法人国士館理事長に就任  
1992年から2004年まで財団法人日本サッカー協会理事・特任理事、1998年から2004年まで全日本大学サッカー連盟理事長、2004年から2006年まで全国体育系大学・学長学部長会会長、2008年から全日本大学サッカー連盟顧問、2014年から2022年3月まで一般財団法人関東大学サッカー連盟会長、2022年4月から同連盟顧問、2015年からNPO法人日本サッカー指導者協会理事長  
2009年から全国体育スポーツ系大学協議会理事、2012年から日本私立大学協会理事、2020年から同常務理事、2021年から一般社団法人大学スポーツ協会(UNIVAS)理事  
2015年から公益財団法人私立大学退職金財団監事  
2019年旭日中綬章受章  
2023年日本サッカー殿堂入り

## 国士館大学 学長

### 佐藤 圭一

さとう けいいち



1955年青森県生まれ  
1979年国士館大学政経学部卒業  
1984年国士館大学大学院政治学研究科政治学専攻博士課程修了、2006年博士(政治学)(国士館大学)  
1984年宗教研究所助手として入職。1987年宗教文化研究所講師、2002年政経学部二部教授、2003年政経学部教授。2012年大学院政治学研究科長、政経学部政治学科主任を2期(2002年から2003年、2006年から2008年)、同学部教務主任を3期(2003年から2004年、2004年から2005年、2007年から2010年)務める  
2015年12月国士館大学学長に就任  
2014年から比較憲法学会理事  
2002年受賞学術賞：田上穰治賞(比較憲法学会)  
専門はアメリカ政治史

本校は昨年、1923(大正12)年の「中等部」創設から100年を迎えました。創設から一貫して心身の育成と人間性の涵養を重視する教育で社会の要請に応え、本校の2万5千人を超える卒業生は国内外問わず、各分野で活躍しています。

創立者の柴田徳次郎先生は、共に助け合い、人々のために奉仕できる豊かな心を育むための人間教育を重視されました。それは、国士館の「建学の精神」「教育理念」「教育指針」として掲げられ、現在まで脈々と受け継がれています。本校で学ぶ3年間および6年間を通じて人や文化の多様性を知り、礼儀を学び、心身を鍛錬することで、前向きで責任ある行動や、積極的に社会参画ができるように、一人一人の成長を促すための教育プログラムを準備しています。

さて、AIが台頭するこの先の社会では、ますます人としての真の生き方や創造性が問われます。AIに目的や倫理観を与えるのは人間であり、適切な分析手法を見出せる知識と、物事の背景を読み解く論理的思考力、コミュニケーション能力の必要性がますます高まっています。

学校は単に知識や技術を得るためだけの場所ではありません。学校は、さまざまな人と関わることで多様な価値や考え方を知り、社会に視野を広げていく場でもあります。本校は社会の進展に応じたデジタル環境を整備し、課題解決力を育む体験型カリキュラムや専用施設での宿泊研修によるグローバル教育などハード・ソフトの両面で学修環境の充実をはかっています。

また、国士館大学に隣接する系属校としての利点を生かしたキャリア教育では、施設見学や学部説明会に参加するほか、大学の授業やゼミでの学びを体験するなど高大接続行事を通じて一人一人が将来設計を考える機会としています。

本校は、思いやりの心を育み、自ら考え伸ばしていけるオンリーワンの教育で、世のため人のために尽くす人材「国士」を輩出し社会に貢献してまいり所存です。

## 国士館高等学校・中学校 校長

### 渡邊 隆

わたなべ・たかし



1969年神奈川県生まれ  
1994年東京理科大学理学部二部卒業  
2004年国士館高等学校・中学校教諭  
2023年副校長、2024年国士館高等学校・中学校校長に就任  
2008年から国士館高等学校硬式野球部の部長、顧問を務め、春3回の甲子園出場に貢献  
2012年から東京都高等学校高校野球連盟大会委員

## 役員等

[理事長]  
大澤英雄

[理事]  
佐藤圭一  
田原淳子  
福永清貴  
山根 潤  
横沢民男  
石田唱司  
北村 滋  
島崎修次  
瀬野 隆  
福本正幸  
間瀬誠吾  
美納淳一  
山田慎吾

[監事]  
足立禮一  
今福康夫

[評議員]  
佐藤圭一  
渡邊 隆  
岩元浩一  
表きよし  
辰野文理  
田原淳子  
二川佳央  
仁藤智子  
福永清貴  
浅野誠一郎  
斎藤弘子  
作田英一  
山根 潤  
加藤純一  
小泉與七  
坂本勝矢  
柴田則夫  
横沢民男  
脇本三千雄  
安西博見  
押切謙徳  
北村 滋  
小山泰文  
島崎修次  
瀬野 隆  
福本正幸  
美納淳一  
矢野博志  
山田慎吾

## 国士館大学

[学長]  
佐藤圭一

[副学長]  
辰野文理

### [大学院研究科長]

政治学研究科 …………… 上村信幸  
経済学研究科 …………… 許 海珠  
経営学研究科 …………… 佐藤圭一  
スポーツ・システム研究科 …… 田原淳子  
救急システム研究科 …………… 田中秀治  
工学研究科 …………… 寺内義典  
法学研究科 …………… 森田悦史  
総合知的財産法学研究科 …… 三浦正広  
人文科学研究科 …………… 小野瀬倫也  
グローバルアジア研究科 …… 高橋伸子

### [学部長]

政経学部 …………… 石見 豊  
体育学部 …………… 古田仁志  
理工学部 …………… 大浦邦彦  
法学部 …………… 飯塚 真  
文学部 …………… 仁藤智子  
21世紀アジア学部 …… 中山雅之  
経営学部 …………… 佐藤圭一

### [附属施設・附置研究所長等]

国際交流センター …………… 大高敏男  
図書館・情報メディアセンター … 中村一夫  
防災・救急救助総合研究所 …… 島崎修次  
地域連携・社会貢献推進センター … 村上純一  
ウエルネス・リサーチセンター … 永吉英記  
デジタルアーカイブセンター …… 佐藤圭一

## 国士館高等学校・中学校

### [校長]

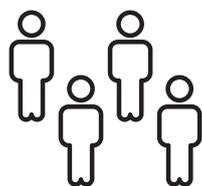
渡邊 隆

学部・学科・研究科数

7 学部 14 学科、10 研究科



1958年の大学設置以降、国士館大学は7学部10研究科を擁する総合大学へと発展しました。



学生数

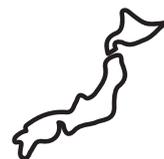
12,730人

内訳：大学院281人、学部12,449人

学部生の地方出身者の割合

※東京圏（東京、埼玉、千葉、神奈川）  
以外の出身者の割合

33%



国士館大学では、全国各地から学生たちが集い、それぞれの目標に向かって学んでいます。

〔データで見る国士館〕

KOKUSHIKAN

就職者数（令和4年度）

警察官116人 全国2位  
消防官113人 全国1位

『大学ランキング2025』（朝日新聞出版）より

本学主催セミナー参加団体数

450団体



令和5年度に開催した本学主催セミナーには、主に民間企業を対象とした「就活！HOT SPACE」に253団体、「業界研究フェア」に197団体、延べ450団体が参加しました。

公務員就職者数（令和5年度）

508人

就職率（令和5年度卒業生）

97.0%

救急救命士合格者数（令和5年）

139人 全国1位

『大学ランキング2025』（朝日新聞出版）より

教員就職者数（令和5年度）

202人  
内訳：高等学校36人、中学校34人、小学校96人、その他36人

図書所蔵数

約88万  
8千冊

3キャンパスに図書館を設け、専門書など多くの図書を所蔵しています。



志願者数 (令和6年度入学者選抜)



14,867人

協定校・機関数

24カ国 1地域

56協定



卒業生数



約18万9千人

留学生数

639人

卒業生は国士館創立以来、18万人を超え全国で活躍しています。

12カ国1地域639人の留学生在が国士館で学んでいます。

# UNIVERSITY in DATA

防災士合格者数

(平成29～令和5年度累計)



1,336人 ※職員34人含む

本学では、防災リーダー育成のため平成25年度より防災リーダー養成カリキュラムを開講しています。平成29年度から本科目受講者は防災士の受験資格を得られるようになり、これまでに1,300人以上の防災士が誕生しています。

外部評価

13年連続 AA-

学校法人国士館は、2024年4月、株式会社日本格付研究所(JCR)より、13年連続で長期発行体格付で「AA-(ダブルAマイナス)」を取得するとともに、格付けの見通しは「安定的」との結果を得ました。



オリンピック・  
パラリンピアン

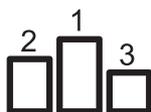
62人

メダル獲得数

11個

本学はこれまでに62人のオリンピック・パラリンピアンを輩出しており、金メダルを6個、銀メダル1個、銅メダル4個獲得しています。

(国士館高校出身者2人を含む)



課外活動団体数

105 クラブ・サークル

スポーツ協議会が指定する34クラブを含む、多くのクラブ・サークルが活動しています。



大学(設置校)と学園(法人)に関する情報について、最新のデータを集積・整理した『IR Data Book』を公開。

## 世田谷区と包括連携協定を締結

本学と世田谷区は2024年2月、相互のネットワークを生かした地域協働事業の充実・発展を目的とした「国士館大学と世田谷区との連携・協力に関する包括協定」を締結しました。本協定に基づき、人的交流の推進、知的・物的資源の相互活用、調査研究および事業の共同実施に取り組み、地域社会の持続的な発展に資する連携・協力の強化を図ります。



## 全学共通教育を開始

本学は教養教育の見直しを図り、2024年度から新たに「全学共通教育」を開始しました。科目は「国士館を学ぶ」「人間と社会」「サイエンスと情報」「スポーツ・健康・芸術」「グローバル社会に対応した外国語を学ぶ」の5つの科目群で構成され、4年間を通して各学部・学科の専門科目や基礎科目と相互に結び付く本学の特色を生かした体系となっています。複雑化する社会の中で課題を見つけ、解決につなげられるための基本的な力の習得を目指します。

## 災害ボランティア派遣・被災地復興支援

本学は令和5年台風13号と令和6年能登半島地震において、被害を受けた地域に合わせて114人の学生ボランティアを派遣しました。専門の知識を有した本学教員指導の下、被災家屋のがれき撤去などを行いました。

能登半島地震では、学内に募金箱を設置して義援金を呼びかけたほか、本学アーティストックスイミング部によるチャリティーショーを開催するなどして支援の輪を広げました。



## 彬子女王殿下による特別講義

本学人文科学研究科客員教授であられる三笠宮家の彬子女王殿下が2023年10月19日、「三笠宮崇仁親王とその時代」と題してご講義をなさいました。講義では、彬子女王殿下が前年に上梓された伝記『三笠宮崇仁親王』に触れられ、崇仁親王の幼少期のエピソードや世界平和への思いを体現する取り組みについて話されました。



## 国士館キャンパス環境整備事業の基本構想を策定

本学園は2024年2月に、国士館創立110周年記念事業の一環として、国士館キャンパス環境整備事業の基本構想を策定しました。

本構想は、世田谷校地の老朽化した建物の建て替えを中心としたキャンパス全体の再整備を目的としており、事業期間は2034年度中の事業完了を目標としています。「KX=国士館トランスフォーメーション」をプロジェクトテーマに据え、地域社会に貢献する心身ともに健やかな人材育成を目指し、国士館の教育理念に即した先駆的なキャンパス環境の整備に取り組みます。



## 中部部創設 100周年、 理工学部創設 60周年

国士館高等学校・中学校は2023年に、1923(大正12)年の「中部部」創設から100周年を迎えました。2023年11月2・3日に開催された秋楓祭に卒業生や退職教員らを招いた記念展示イベントを実施し、パネル展示やエピソードカードの展示で思い出を振り返りました。

同年、理工学部は創設60周年を迎えました。2024年2月16日に記念講演会を開催したほか、『理工学部創設60周年記念誌』を発行し社会に求められるデジタル人材育成の基幹学部として、新たな一歩を踏み出しました。

## 格付評価は 昨年に続き 「AA-」/「安定的」 を取得

本法人は、2024年4月24日付で株式会社日本格付研究所(JCR)より、昨年に引き続き長期発行体格付で「AA-(ダブルAマイナス)」の格付けを取得するとともに、格付けの見通しは「安定的」との結果を得ました。この「AA-」は、10等級ある格付けの上から2番目(AAレンジ)に位置し、「当面、一定の減価償却前事業活動収支差額を確保できる」と評価されました。

# [ 国士館キャンパス環境整備事業基本構想 ] FUTURE VISION

次世代を担う、新たな国士館へ

## KX 国士館トランスフォーメーション 次世代のリーディングキャンパス

近年の急速な社会変革に伴い、トランスフォーメーション(変革)や交差・横断など掛け合わせる意味を持つ“X”を用いて、DX(Digital Transformation)などの変革が推進されています。「国士館キャンパス環境整備事業」では、「国士館の教育理念×先駆的なキャンパス環境の整備＝“KX”＝国士館トランスフォーメーション」をプロジェクトテーマに、地域社会に貢献する心身ともに健やかな人材“国士”を輩出するための次世代をリードする教育環境を整備します。

### 基本構想における7つの方針



学生ファースト  
キャンパス



スマート  
キャンパス



防災  
キャンパス



サステナブル  
キャンパス



ヘルシー  
キャンパス



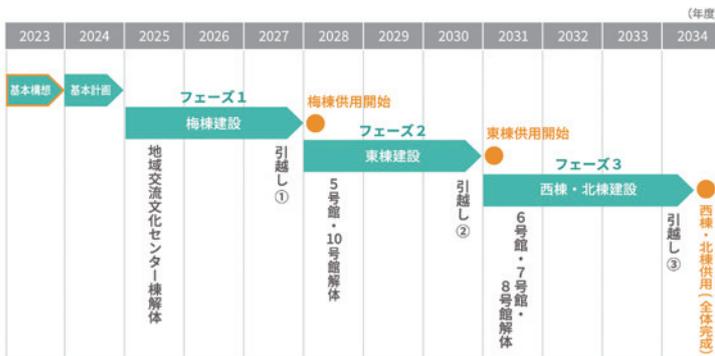
地域連携・社会協創  
キャンパス



インクルーシブデザイン  
キャンパス



### 目標とする事業スケジュール



※スケジュールは現時点の想定であり、今後変更の可能性がります。

世田谷キャンパスで修学する学生に対する授業は工事期間中も同キャンパスで行うことを前提とし、在学期間を仮設校舎だけで過ごすことがないように配慮するなど、学生の負担を最小限に抑えて整備します。

学園の運営を継続しながら建て替えを進めるため、3つのフェーズに分けて段階的に整備していきます。

国士館キャンパス環境整備事業に関する最新情報を公開。



## 学生・生徒数

\*学生・生徒数は「学校法人基礎調査」(5/1現在)に基づいています。( )は女子内数 (単位:人)

	大学院	修士課程	257	(71)	281	(80)
		博士課程	24	(9)		
	学部				12,449	(3,168)
	大学院・学部合計				12,730	(3,248)

	研究科	専攻	学生数			
			修士課程	博士課程		
大学院	政治学研究科	政治学専攻	32	(13)	7	(5)
	経済学研究科	経済学専攻	26	(4)	2	(0)
	経営学研究科	経営学専攻	24	(8)	1	(1)
	スポーツ・システム研究科	スポーツ・システム専攻	23	(3)	3	(0)
	救急システム研究科	救急救命システム専攻	11	(2)	5	(1)
		救急救命システム専攻(1年コース)	2	(1)	—	
	工学研究科	機械工学専攻	12	(2)	—	
		電気工学専攻	8	(2)	—	
		建設工学専攻	25	(7)	—	
		応用システム工学専攻	—		1	(1)
	法学研究科	法学専攻	18	(3)	1	(0)
	総合知的財産法学研究科	総合知的財産法学専攻	24	(4)	—	
	人文科学研究科	人文科学専攻	12	(6)	1	(1)
		教育学専攻	14	(7)	2	(0)
	グローバルアジア研究科	グローバルアジア専攻	26	(9)	—	
		グローバルアジア研究専攻	—		1	(0)
大学院計		257	(71)	24	(9)	

	学部	学科	学生数	学部別合計		
学部	政経学部	政治行政学科*	769	(135)	2,364	(382)
		経済学科	1,595	(247)		
	体育学部	体育学科	977	(194)	2,341	(559)
		武道学科	379	(92)		
		スポーツ医科学科	649	(111)		
		こどもスポーツ教育学科	336	(162)		
	理工学部	理工学科	1,476	(226)	1,476	(226)
	法学部	法律学科	915	(284)	1,774	(511)
		現代ビジネス法学科	859	(227)		
	文学部	教育学科	536	(268)	1,750	(645)
		史学地理学科	782	(178)		
		文学科	432	(199)		
21世紀アジア学部	21世紀アジア学科	1,515	(471)	1,515	(471)	
経営学部	経営学科	1,229	(374)	1,229	(374)	
学部計				12,449	(3,168)	

高等学校 ・中学校	生徒数					
	高等学校	全日制課程	1,003	(311)	1,088	(330)
		定時制課程	85	(19)		
中学校				178	(36)	

\*2016年 政治学科を名称変更

## 教員数

(単位:人)

	専任	その他		専任	その他
大学			高等学校		
大学院	1	58	全日制課程	40	19
政経学部	47	88	定時制課程	10	1
体育学部	73	71	中学校		
理工学部	47	115		10	2
法学部	41	57	計	60	22
文学部	55	91	合計	378	638
21世紀アジア学部	24	55			
経営学部	23	77	※兼務を除く		
その他	7	4			
計	318	616			

## 職員数

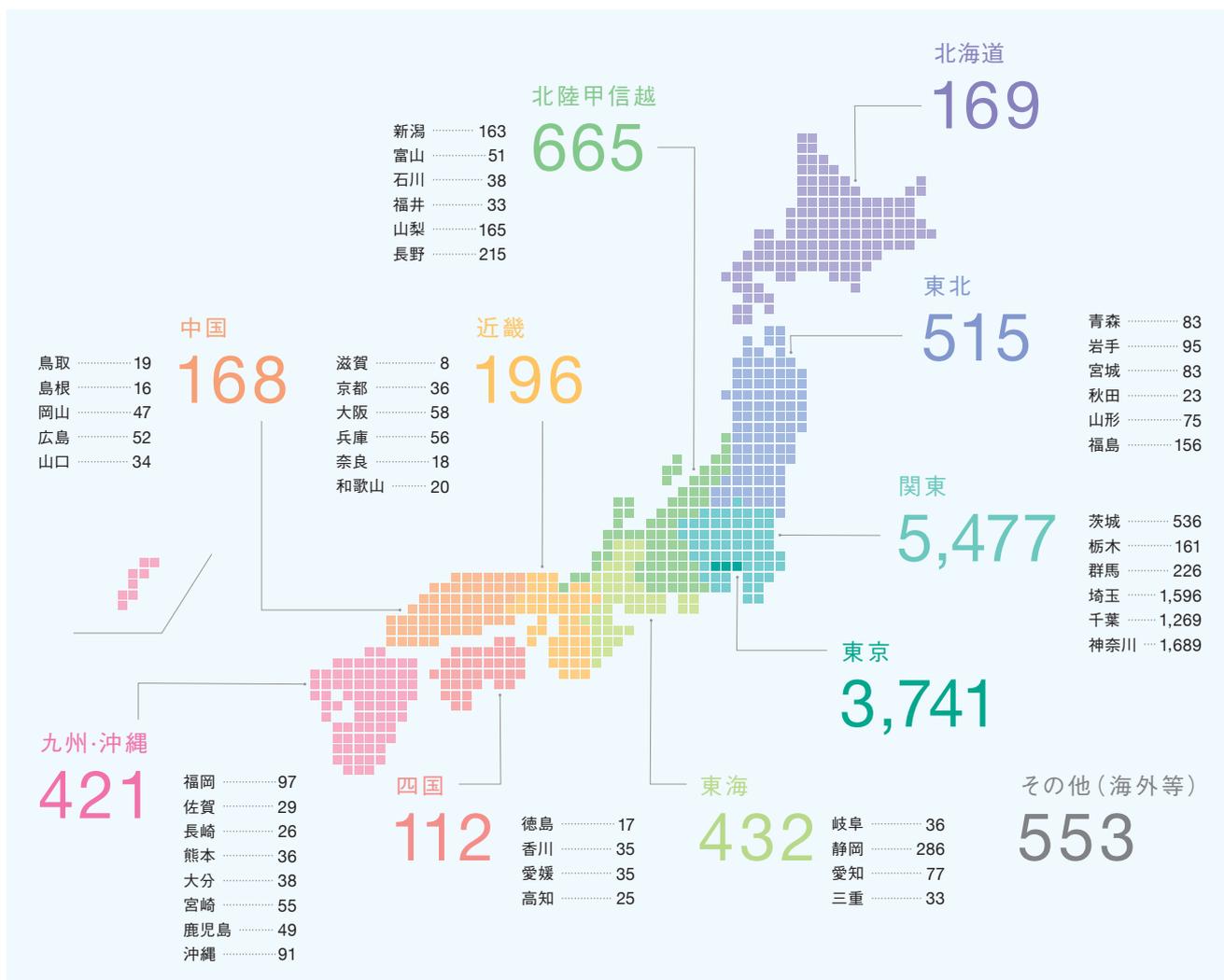
(単位:人)

	専任	その他
法人	66	38
大学	123	68
高等学校	4	4
中学校	1	1
合計	194	111

※派遣を除く

## 出身高等学校 所在都道府県別 学部生数

(単位:人)



## キャンパス別学生数

(単位:人)

キャンパス	学生数
世田谷	8,803 (2,202)
町田	1,878 (642)
多摩	2,049 (404)
総数	12,730 (3,248)

( )は女子内数

## 卒業・修了生数累計

(単位:人)

	学部等	設置年	令和5年度 卒業・修了生数	累計
大学院	修士課程	1965(昭和40)年~	122	3,995
	博士課程	1965(昭和40)年~	3	143
	計		125	4,138
学部	政経学部 <sup>※1</sup>	1961(昭和36)年~	556	40,745
	政経学部二部	1965(昭和40)年~2007(平成19)年	—	13,034
	体育学部	1958(昭和33)年~	565	26,609
	理工学部 <sup>※2</sup>	1963(昭和38)年~	323	16,613
	法学部	1966(昭和41)年~	396	18,329
	文学部	1966(昭和41)年~	361	22,880
	21世紀アジア学部	2002(平成14)年~	315	7,265
	経営学部	2011(平成23)年~	272	2,676
計		2,788	148,151	
高等学校	全日制課程	1948(昭和23)年~	274	17,927
	定時制課程	1948(昭和23)年~(旧制・商業科含む)	20	2,540
	通信制課程	2000(平成12)年~2019(令和元)年	—	1,257
	工業科	1963(昭和38)年~2006(平成18)年	—	1,784
	計		294	23,508
中学校	旧制	1925(大正14)年~1949(昭和24)年	—	1,403
	新制	1947(昭和22)年~	35	2,522
	計		35	3,925
福祉専門学校		1995(平成7)年~2007(平成19)年	—	333
その他(短期大学等)			—	8,863
合計			3,242	188,918

※1 政経学部一部含む ※2 2007年 工学部を改組

## 出身国(地域)別留学生数

(単位:人)

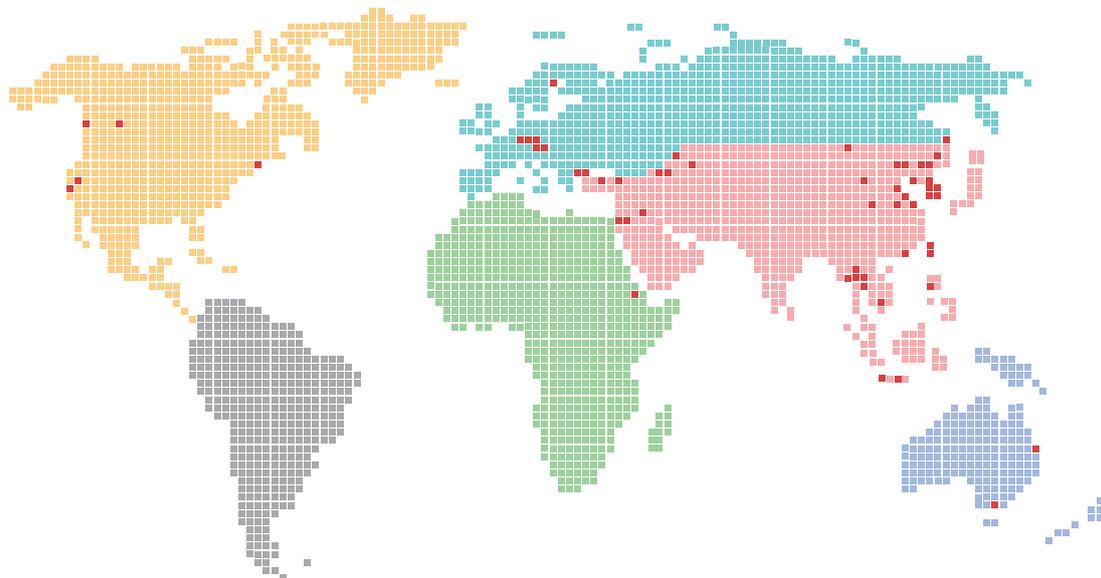
国名	修士	博士	政経学部	体育学部	理工学部	法学部	文学部	21世紀 アジア学部	経営学部	合計
中国	126	9	50	3	54	24	19	233	70	588
韓国			1		4	1		16	1	23
台湾	2						1	3	6	12
インドネシア		2	1							3
ケニア								2		2
モンゴル								1	1	2
コンゴ				1				1		2
ベトナム								1	1	2
カナダ									1	1
ラオス								1		1
ミャンマー								1		1
ネパール								1		1
タイ								1		1
合計	128	11	52	4	58	25	20	261	80	639

\*正規課程在籍留学生数

## 海外協定校・機関 24ヵ国1地域/56大学・機関

地域	所在地	大学名	地域	所在地	大学名
アメリカ	ニューヨーク	セント・ジョンズ大学◆	フィリピン	マニラ	デ・ラ・サル大学
	カリフォルニア デイビス	カリフォルニア大学デイビス校◆	ベトナム	ホーチミン	ベトナム国家社会人文科学大学(USSH)
	カリフォルニア サンフランシスコ	サンフランシスコ州立大学	インドネシア	ジョグジャカルタ	ガジャマダ大学
カナダ	クランブルック	ソロ		セブラスマル大学	
オーストラリア	バンクーバー	カレッジ・オブ・ザ・ロックーズ◆	タイ	バンコク	チュラロンコン大学
	ブリスベン	サイモン・フレージャー大学			
韓国	クレイトン	グリフィス大学◆			
	ソウル	モナッシュ大学	チェンマイ		チェンマイ大学
		漢陽大学校	ミャンマー	ヤンゴン	ヤンゴン大学
		高麗大学校	ハンガリー	ブダペスト	センメルヴェイス大学
	釜山	東義大学校◆			
中国	慶尚北道	国立安東大学校	ドイツ	ミュンヘン	ミュンヘン大学
	光州	国立全南大学校		コブレント	コブレント・ランダオ大学
	北京市	北京師範大学	ロシア	ウラジオストク	極東連邦大学
	山西省	北京工業大学◆	ウズベキスタン	サマルカンド	国立サマルカンド外国語大学
	江蘇省	山西大学		タシケント	世界経済外交大学
	黒龍江省	蘇州大学	キルギス	ビシュケク	キルギス国立総合大学
	上海市	蘇州城市学院	カザフスタン	アルマトイ	アル・ファラピカザフ民族大学
	湖北省	黒龍江大学	エチオピア	アディス・アベバ	アディス・アベバ大学
	吉林省	上海対外経貿大学	イラク	バグダッド	イラク国考古遺産庁
	遼寧省	武漢大学	ヨルダン	イルビド	ヤルムーク大学
	広東省	吉林大学		アンマン	ヨルダン考古庁
台湾	台北市	大連外国語大学	ブルガリア	ソフィア	国立スポーツアカデミー
	高雄市	大連東軟信息学院		ヴェリコ・ダルノヴォ	ヴェリコ・ダルノヴォ大学
モンゴル	ウランバートル	深圳職業技術学院	トルコ	バン	ユズンジュ・ユル大学
		青島大学		アンカラ	ハジェットテッペ大学
		中国文化大学	スウェーデン	ルレオ	ルレオ工科大学
		国立中山大学	チェコ	ブルゼニ	西ボヘミア大学
		モンゴル国立大学			

◆海外研修校



## 主な就職先 (令和5年度)

### 政経学部

アイリスオーヤマ(株)  
 (株)エービーシー商会  
 (株)サドウェーブ  
 (株)サイバーエージェント  
 (株)ニトリホールディングス  
 (株)八十二銀行  
 (株)武蔵野銀行  
 (株)報知新聞社  
 ANAエアポートサービス(株)  
 ニシオホールディングス(株)  
 みずほ証券(株)  
 リゾートトラスト(株)  
 伊勢化学工業(株)  
 伊藤ハム米久ホールディングス(株)  
 国立研究開発法人防災科学技術研究所  
 小田急電鉄(株)  
 西日本旅客鉄道(株)  
 日本年金機構  
 福井放送(株)  
 警視庁ほか都道府県警察  
 デジタル庁  
 東京消防庁ほか消防  
 都道府県市区町村公務員

### 体育学部

(株)インダ  
 (株)ジャクバ  
 (株)ゼルビア  
 (株)ヒマラヤ  
 (株)静岡銀行  
 NX商事(株)  
 ジャパンエレベーターサービスホールディングス(株)  
 シルク・ドウ・ソレイユ  
 トヨタモビリティ東京(株)  
 フタ電子(株)  
 旭化成(株)  
 伊藤忠食品(株)  
 積水ハウス(株)  
 クラシエ製薬(株)  
 東京ヴェルディ(株)  
 独立行政法人国立印刷局  
 日本キャピラリー合同会社  
 文化シヤッター(株)  
 警視庁ほか都道府県警察  
 公立私立学校教員  
 自衛隊  
 都道府県市区町村公務員  
 東京消防庁ほか消防

### 理工学部

(株)IHIエアロスペース・エンジニアリング  
 (株)加賀田組  
 (株)関電工  
 (株)京葉銀行  
 (株)竹中工務店  
 (株)竹内製作所  
 (株)日立パワーソリューションズ  
 JCOM(株)  
 スズキ(株)  
 一般財団法人関東電気保安協会  
 三菱電機システムサービス(株)  
 清水建設(株)  
 大成建設(株)  
 大和ハウス工業(株)  
 中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京(株)  
 能美防災(株)  
 富士ソフト(株)  
 富士通(株)  
 高松建設(株)  
 公立私立学校教員  
 自衛隊  
 警視庁ほか都道府県警察  
 都道府県市区町村公務員

### 法学部

(株)ファミリーマート  
 (株)横浜銀行  
 (株)京王プラザホテル  
 (株)大創産業  
 JCOM(株)  
 スターゼン(株)  
 ホーチキ(株)  
 レバレジーズ(株)  
 呉工業(株)  
 高砂熱学工業(株)  
 芝信用金庫  
 水戸証券(株)  
 積水化学工業(株)  
 田島ルーフィング(株)  
 東京信用金庫  
 独立行政法人駐留軍等労働者労務管理機構  
 独立行政法人労働者健康安全機構  
 美和ロック(株)  
 宮内庁  
 警視庁ほか都道府県警察  
 都道府県市区町村公務員  
 東京国税局  
 東京消防庁ほか消防

### 文学部

(株)アフロ  
 (株)ドームコナイテッド  
 (株)横浜銀行  
 (株)京王百貨店  
 (株)九電工  
 (株)星野リゾートホールディングス  
 (株)日本旅行  
 JALスカイエアポート沖縄(株)  
 イオンリテール(株)  
 イギン(株)  
 ニコニコのり(株)  
 関東日本フード(株)  
 近畿日本鉄道(株)  
 国際航空(株)  
 三菱電機住環境システムズ(株)  
 西日本旅客鉄道(株)  
 朝日航洋(株)  
 東京インキ(株)  
 北海道旅客鉄道(株)  
 警視庁ほか都道府県警察  
 東京消防庁ほか消防  
 都道府県市区町村公務員  
 公立私立学校教員  
 自衛隊

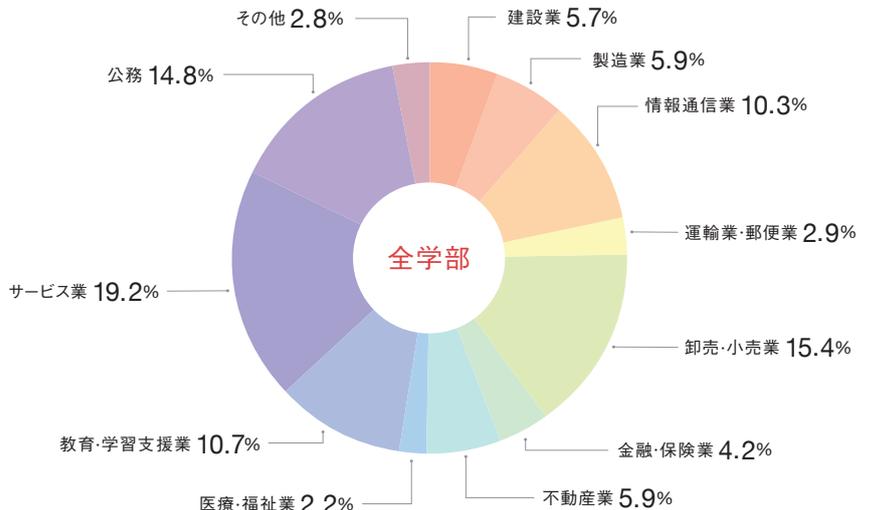
### 21世紀アジア学部

(株)AIRDO  
 (株)ANA ケータリングサービス  
 (株)エイチ・アイ・エス  
 (株)マキタ  
 (株)横浜銀行  
 (株)吉田  
 (株)群馬銀行  
 (株)西武・プリンスホテルズワールドワイド  
 ANAエアポートサービス(株)  
 トヨタ自動車東日本(株)  
 羽田空港サービス(株)  
 近畿日本鉄道(株)  
 三協立山(株)  
 森トラスト・ホテルズ&リゾーツ(株)  
 川崎信用金庫  
 全日本空輸(株)  
 大和ハウス工業(株)  
 東京ヴェルディ(株)  
 東京地下鉄(株)  
 富士ソフト(株)  
 警視庁ほか都道府県警察  
 自衛隊  
 都道府県市区町村公務員

### 経営学部

(株)サイバーエージェント  
 (株)ニトリホールディングス  
 (株)岩手銀行  
 (株)成城石井  
 (株)星野リゾート  
 (株)足利銀行  
 ANAエアポートサービス(株)  
 ANAテレマート(株)  
 Sky(株)  
 TOHOシネマス(株)  
 グラクソ・スミスクライン(株)  
 スズキ(株)  
 花王(株)  
 丸紅フォレストリンクス(株)  
 高見(株)  
 高梨乳業(株)  
 三井住友カード(株)  
 山崎製パン(株)  
 積水ハウス(株)  
 中央労働金庫  
 東日本旅客鉄道(株)  
 法務省  
 警視庁ほか都道府県警察  
 都道府県市区町村公務員

全学部 業種別就職割合 (令和5年度)



## 研究データ

## 博士学位授与者数

(単位:人)

区分	令和4年度	令和5年度	累計
課程博士授与者数	4	3	71
論文博士授与者数	2	3	61
合計	6	6	132

## 科学研究費助成事業(科研費)交付額

(単位:千円)

種目	令和5年度 <sup>※1</sup>		令和6年度 <sup>※2</sup>	
	件数	金額	件数	金額
新学術領域研究	—	—	—	—
基盤研究(B)	7	41,210	6	18,460
基盤研究(C)	43	43,979	35	33,566
挑戦的研究(萌芽)	—	—	—	—
若手研究	9	8,450	7	8,320
研究活動スタート支援	1	1,300	—	—
研究成果公開促進費(学術図書)	—	—	1	2,000
国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(A))	—	—	—	—
奨励研究	—	—	—	—
特別研究員奨励費	1	1,430	2	2,860
計	61	96,369	51	65,206

※1 令和6年3月31日のデータに基づく ※2 令和6年4月1日現在

## 外部資金受入状況

(単位:千円)

区分	令和4年度		令和5年度	
	件数	金額	件数	金額
受託研究・共同研究	13	14,583	16	22,744
奨学寄附金	3	2,300	4	2,700
助成金等	14	53,041	10	55,379
計	30	69,924	30	80,823

## 特許出願件数

(単位:件)

	令和4年度	令和5年度
単独出願	7	1
共同出願	0	2
計	7	3

## 特許保有件数

(単位:件)

	令和4年度	令和5年度
保有件数	5	6

## 図書館データ

## 図書所蔵数

(単位:冊)

	和書	洋書	合計
世田谷	495,814	169,286	665,100
町田	146,482	29,425	175,907
多摩	38,175	9,081	47,256

## 雑誌所蔵数

(単位:種)

	和書	洋書	合計
世田谷	6,250	1,569	7,819
町田	695	287	982
多摩	374	92	466

## 科研費

科研費は、人文学・社会科学から自然科学まですべての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる学術研究を格段に発展させることを目的とする「競争的研究資金」であり、独創的・先駆的な研究に対し助成を行う文部科学省および独立行政法人日本学術振興会の事業

## 受託研究

企業等から委託を受けて行う研究

## 共同研究

企業等と共同で行う研究

## 奨学寄附金

企業や篤志家などから寄附金を受け入れて、学術研究や教育の充実・発展に活用する制度

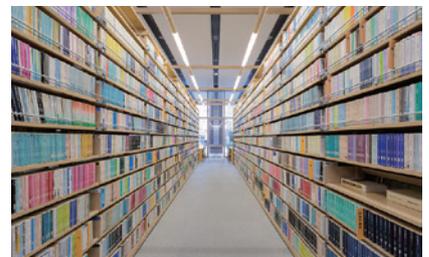
## 助成金等

国の競争的資金や財団等の公募で採択された研究費

## 図書館座席数

(単位:席)

世田谷	747
町田	403
多摩	211
合計	1,361



## 財務状況

## 令和5年度 資金収支計算書

収入の部 (単位:百万円)

科目	決算額
学生生徒等納付金・手数料収入	16,100
寄付金収入	95
補助金収入	2,133
その他の収入	8,510
資金収入調整勘定	△ 4,462
前年度繰越支払資金	20,953
収入の部合計	43,328

支出の部 (単位:百万円)

科目	決算額
人件費支出	9,460
教育研究経費支出	5,505
管理経費支出	1,065
施設・設備関係支出	792
その他の支出	6,147
資金支出調整勘定	△ 1,149
翌年度繰越支払資金	21,508
支出の部合計	43,328

## 令和5年度 活動区分資金収支計算書

(単位:百万円)

科目	決算額
教育活動資金収入計	19,611
教育活動資金支出計	16,004
差引	3,607
調整勘定等	△ 199
教育活動資金収支差額	3,408
施設整備等活動資金収入計	21
施設整備等活動資金支出計	3,292
差引	△ 3,271
調整勘定等	△ 264
施設整備等活動資金収支差額	△ 3,534
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	△ 127
その他の活動資金収入計	2,964
その他の活動資金支出計	2,283
差引	682
調整勘定等	0
その他の活動資金収支差額	682
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	555
前年度繰越支払資金	20,953
翌年度繰越支払資金	21,508

## 令和5年度 事業活動収支計算書(事業活動収入構成比率)

(単位:百万円)

科目	決算額	比率
教育活動収入計	19,620	98.9%
教育活動支出計	17,691	89.2%
教育活動収支差額	1,929	9.7%
教育活動外収入計	148	0.7%
教育活動外支出計	15	0.1%
教育活動外収支差額	133	0.7%
経常収支差額	2,062	10.4%
特別収入計	71	0.4%
特別支出計	53	0.3%
特別収支差額	19	0.1%
基本金組入前当年度収支差額	2,081	10.5%
基本金組入額合計	△ 2,294	△ 11.6%
当年度収支差額	△ 214	△ 1.1%
前年度繰越収支差額	△ 19,683	△ 99.2%
翌年度繰越収支差額	△ 19,897	△ 100.3%
(参考)		
事業活動収入計	19,839	100.0%
事業活動支出計	17,758	89.5%

## 貸借対照表(令和6年3月31日現在)

資産の部 (単位:百万円)

科目	金額
固定資産	58,860
有形固定資産	38,144
特定資産	5,879
その他の固定資産	14,837
流動資産	23,042
資産の部合計	81,902

負債・純資産の部 (単位:百万円)

科目	金額
固定負債	5,833
流動負債	5,867
純資産	70,203
基本金	90,100
繰越収支差額	△ 19,897
負債及び純資産の部合計	81,902

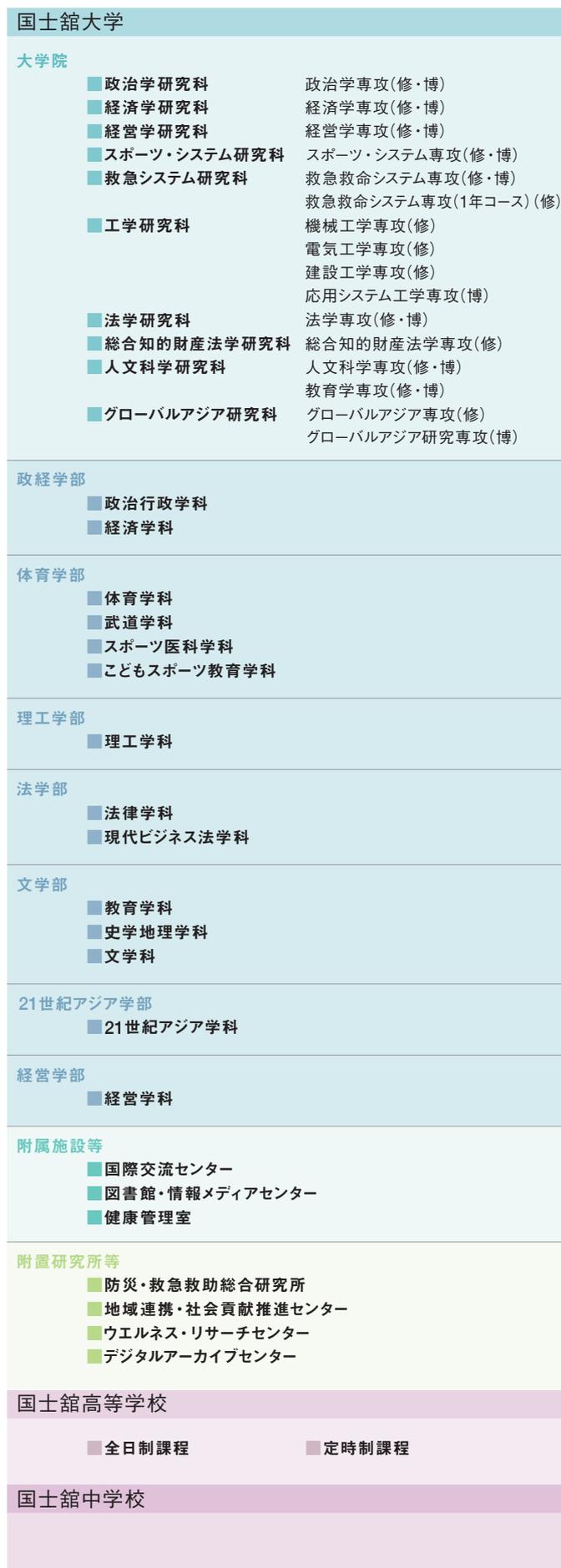
\* 表中の決算額は、百万円未満を四捨五入しているため、合計金額が計算上一致しない場合があります。

\* 「活動区分資金収支計算書」は、資金収支計算書の決算額を3つの活動に区分した附属表です。学校の本業である「教育活動」に係る学納金、人件費、教育研究経費等の収支、「施設整備等活動」として施設設備投資とその財源の収支、「その他の活動」として財務活動、収益事業に係る活動、預り金の受払い等を計上しています。

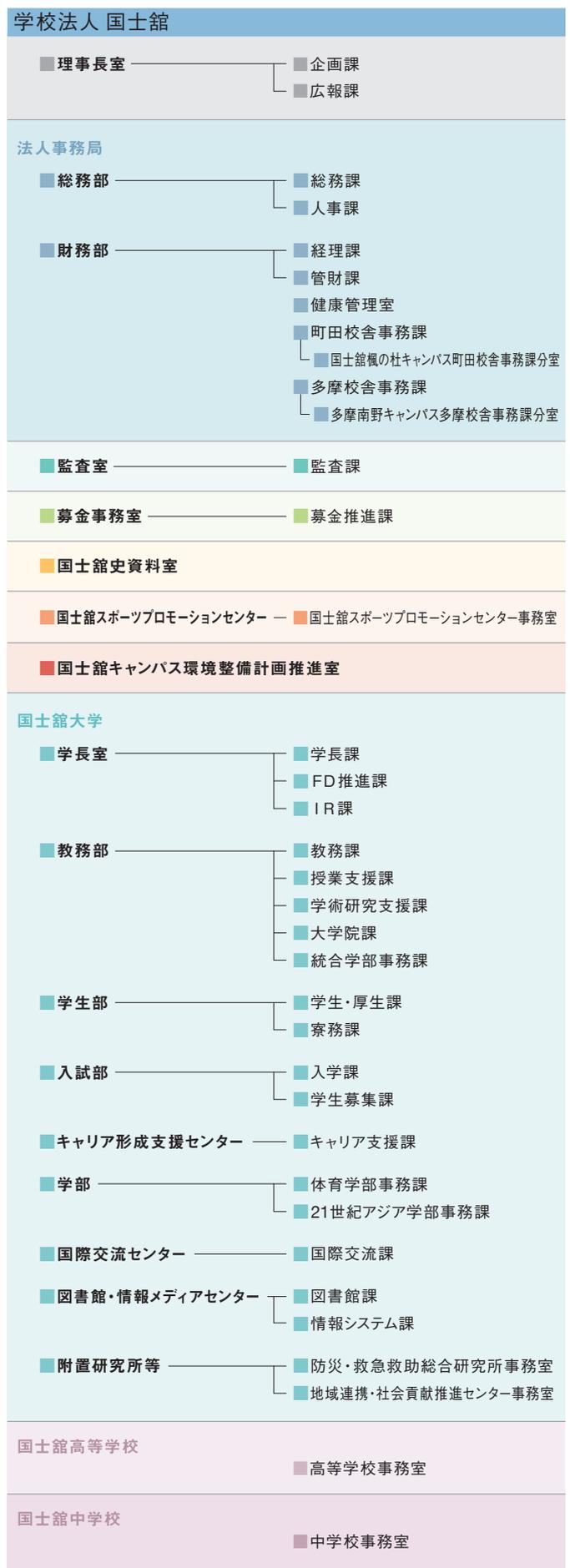
\* 「事業活動収支計算書」は、学校法人における事業活動を経常的なものと臨時的なものに区分し、さらに経常的なものは「教育(研究を含む)活動収支」と「教育活動外収支」に区分し、また臨時的なものは「特別収支」として把握することとしています。基本金組入前当年度収支差額は、学校の採算性を示す企業会計の当期利益率に近い比率です。なお詳細は、本学のホームページで公開しています。

# 組織

## 教育研究組織図



## 事務組織図



# キャンパス・施設概要



## 教育研究機関(修学キャンパス)

### 世田谷キャンパス



〒154-8515 東京都世田谷区世田谷4-28-1  
TEL 03-5481-3111(代表)

#### 世田谷キャンパスへのアクセス

- ▶小田急線梅ヶ丘駅下車、徒歩約9分
- ▶東急世田谷線松陰神社前駅または世田谷駅下車、徒歩約6分

#### 国士館高等学校・中学校

〒154-8553 東京都世田谷区若林4-32-1  
TEL 03-5481-3131(高等学校代表)  
TEL 03-5481-3114(中学校代表)

### 町田キャンパス



〒195-8550 東京都町田市広袴1-1-1  
TEL 042-735-3111(代表)

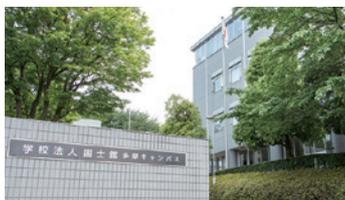
#### 町田キャンパスへのアクセス

- ▶小田急線鶴川駅前からスクールバス(無料)
- ▶小田急線鶴川駅バスターミナル3番乗り場から、「鶴川団地」行きバスで約9分、「国士館大学前」下車

鶴川駅スクールバス乗り場  
〈鶴川駅から町田キャンパスまで〉

鶴川駅の北口改札口を出て、まっすぐ進み鶴川街道(バス通り)に出たところ。  
〈乗車時間:約10分〉

### 多摩キャンパス



〒206-8515 東京都多摩市永山7-3-1  
TEL 042-339-7200(代表)

#### 多摩キャンパスへのアクセス

- ▶小田急多摩線・京王相模原線永山駅前からスクールバス(無料)
- ▶小田急多摩線・京王相模原線永山駅バスターミナル3番乗り場から、「鶴川駅」「永山五丁目」「京王多摩車庫前」行きバスで、「永山高校」下車、徒歩約7分

永山駅スクールバス乗り場  
〈永山駅から多摩キャンパスまで〉

永山駅改札口を出て、階段を降りる。左手にある交番の前方に見える金属製のオブジェが目印。  
〈乗車時間:約10分〉

## 修学支援施設

### 国士館楓の杜キャンパス



〒195-0063 東京都町田市野津田町 3101  
TEL 042-734-0050(町田校舎事務課分室) TEL 042-736-2300(町田校舎事務課)

#### 国士館楓の杜キャンパスへのアクセス

- ▶小田急線鶴川駅バスターミナル1番乗り場から、「やくし台センター」行きバスで、終点「やくし台センター」下車、徒歩約5分
- ▶小田急線鶴川駅バスターミナル6番乗り場から、「町田駅」行きバスで、「野津田神社入口」下車、徒歩約12分
- ▶小田急線町田駅北口21番乗り場から、「鶴川駅」「野津田車庫」行きバスで、「野津田神社入口」下車、徒歩約12分

### 多摩南野キャンパス



〒206-0032 東京都多摩市南野2-11-1  
TEL 042-401-8710(多摩校舎事務課分室)

#### 多摩南野キャンパスへのアクセス

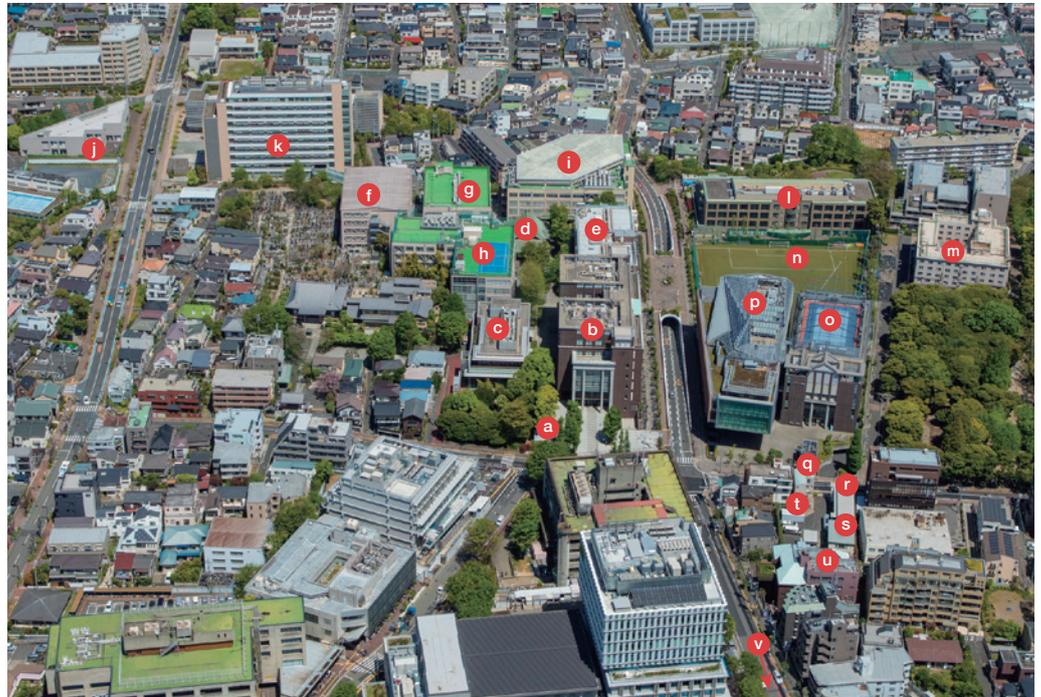
- ▶小田急多摩線・京王相模原線多摩センター駅 バスターミナル8番乗り場から、多01、多03、多04、桜46、永65、バスターミナル10番乗り場から、多05 「恵泉女学園大学入口」下車、徒歩約2分
- ▶小田急多摩線・京王相模原線永山駅 バスターミナル1番乗り場から、永65 「恵泉女学園大学入口」下車、徒歩約1分
- ▶小田急線鶴川駅 バスターミナル5番乗り場から、多04 「恵泉女学園大学入口」下車、徒歩約1分

# キャンパス・施設概要

## 世田谷キャンパス 最先端設備が揃う渋谷・新宿から30分の立地ながら、静かな学びの環境

大学院: 政治学研究科/経済学研究科/経営学研究科/工学研究科/法学研究科/総合知的財産法学研究科/人文科学研究科  
学 部: 政経学部/理工学部/法学部/文学部/経営学部

- a 正門受付
- b 中央図書館
- c 1号館
- d 国士館大講堂
- e 5号館
- f 6号館
- g 7号館
- h 8号館
- i 10号館
- j 国士館大学 地域交流文化センター
- k 34号館(梅ヶ丘校舎)
- l 高等学校・中学校校舎
- m 24号館
- n グラウンド
- o 体育・武道館
- p メイプルセンチュリーホール
- q 38号棟
- r クラブ部室
- s ハイテク・リサーチ・センター棟
- t 学園祭実行委員会室
- u 柴田会館
- v 国士館大学ゲストハウス



土地面積: 56,831㎡ / 建物面積: 109,421㎡

## 町田キャンパス 東京・町田の丘陵に広がる、緑が爽やかな環境

大学院: グローバルアジア研究科  
学 部: 体育学部(こどもスポーツ教育学科)/21世紀アジア学部

- a 正門受付
- b 中央広場
- c 11号館
- d 12号館
- e 13号館
- f 14号館
- g 15号館
- h 30号館
- i 野球場
- j クラブ部室A棟
- k 第2柔道場
- l 第3体育館
- m 第4体育館
- n 鶴川メイプルホール
- o 学園祭実行委員会室
- p 書籍・文具店
- q テニスコート/ゴルフ教場/弓道場
- r 多目的グラウンド
- s 多目的グラウンド管理棟
- t 屋内野球練習場



土地面積: 90,202㎡ / 建物面積: 36,400㎡

## 多摩キャンパス 最新の各種スポーツ施設が整う広大な校地

大学院: スポーツ・システム研究科 / 救急システム研究科  
 学 部: 体育学部(体育学科・武道学科・スポーツ医科学科)

- a 18号館(教室・管理棟)
- b 体育館棟
- c 武道棟
- d 21号館(教室・研究棟)
- e 25号館(教室・実習棟)
- f 食堂棟
- g メイプルセンチュリーセンター多摩
- h 学園祭実行委員会室
- i 相撲教場
- j ラグビー・アメリカンフットボール場
- k 多目的グラウンド
- l テニスコート
- m 陸上競技場
- n 管理A棟
- o 管理B棟
- p 管理D棟
- q 野球場
- r 多摩球心寮



土地面積: 160,749㎡ / 建物面積: 25,423㎡

## 国士館楓の杜キャンパス

JFA(日本サッカー協会)公認グラウンドを備える緑豊かな校地



土地面積: 42,335㎡ / 建物面積: 2,345㎡

- a グラウンド
- b サブグラウンド
- c 39号館
- d 40号館
- e 多目的ホール
- f シャワー棟

## 多摩南野キャンパス

防災教育研究の拠点となる都内最大の丘陵地帯に位置する校地



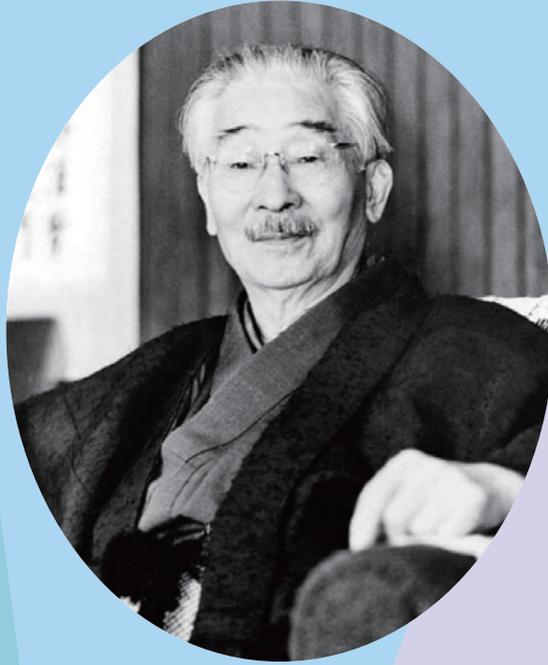
土地面積: 21,194㎡ / 建物面積: 13,464㎡

- a A棟
- b B棟
- c F棟

しばた・とくじろう

1890.12.20—1973.1.26

福岡県那珂郡別所村(現・那珂川市別所)に生まれる。15歳で上京し、苦学の末に早稲田大学専門部を卒業。在学時より同郷の頭山満、野田卯太郎、中野正剛らの知遇を得た。1917年、26歳で同志とともに国士館を創立。国士館を法人化するとともに、諸学校を設置して多くの青少年に門戸を開き、文武両道の精神を基本とする人材の育成に努める。戦災で校舎を失う苦難を乗り越え、国士館の再建復興をはかり、中学校・高等学校・大学・大学院を一貫する総合学園の基礎を築いた。教育にすべてを捧げた柴田の志は、今なお脈々と受け継がれている。1973年、享年84で永眠。正四位勲二等瑞宝章。経済学博士



教育に生涯を捧げた気魄の人  
国士館創業者

柴田徳次郎

## 若き創業者

国士館を創立した時、柴田は弱冠26歳、無名の青年でした。貧しい農家に生まれた柴田は、幼少より困窮する人々を助けたいとの志を抱き、勉学のため15歳で単身上京し、牛乳配達など苦学の末に早稲田大学を卒業します。当時の日本は、急速に近代化を遂げた一方で、伝統文化の軽視や貧富の拡大などにより社会は疲弊していました。柴田が抱いた志は、社会の歪みを改めたいという信念となり、同世代の同志たちが集います。そして1917年、次の時代を担う青年層への教育に着目して、新たな教育機関・国士館を創立するのです。



1917年 国士館開校式

## 時代と人をつかむ

国士館の教育は「真の智識人」の育成にあり、新たな時代に相応しいその趣旨に多くの支援者を得ました。それは、従来の形式的な近代的学術の教授のみならず、軽視されつつある伝統文化に基づいた人格形成を主眼とした教育にありました。地位も財産もない若き柴田らは、将来の日本社会を担う国士館の理想を説き、頭山満、野田卯太郎、渋沢栄一、徳富蘇峰らをはじめ、明治期に活躍した多くの有識者の支援を得ます。新時代を担う教育に賛同する支援者により、国士館は教育の環境を整えていくのです。



1926年 創立期の支援者(前列左より頭山、野田、渋沢、徳富、後列最右に柴田)

## 生涯、教育者として

柴田は、国士館の創立以来、約60年にわたり教育の場に立ち続けました。大学の創設以降、学生・生徒も急増し総合学園へと発展を遂げる国士館にあって、柴田は、経営への尽力とともに、毎週の館長訓話や一人一人への卒業面接をみずから行うなど、個々の人間力を高める独自の教育を展開します。晩年、脳溢血を患いながらも訓話に登壇した柴田は、第一声で「学生諸君、会いたかったよ」と発し、その場の学生らは皆、涙したといいます。国士館の教育に生涯を捧げた柴田は、厳しくも慈愛に満ちた教育者でした。



1965年 館長訓話

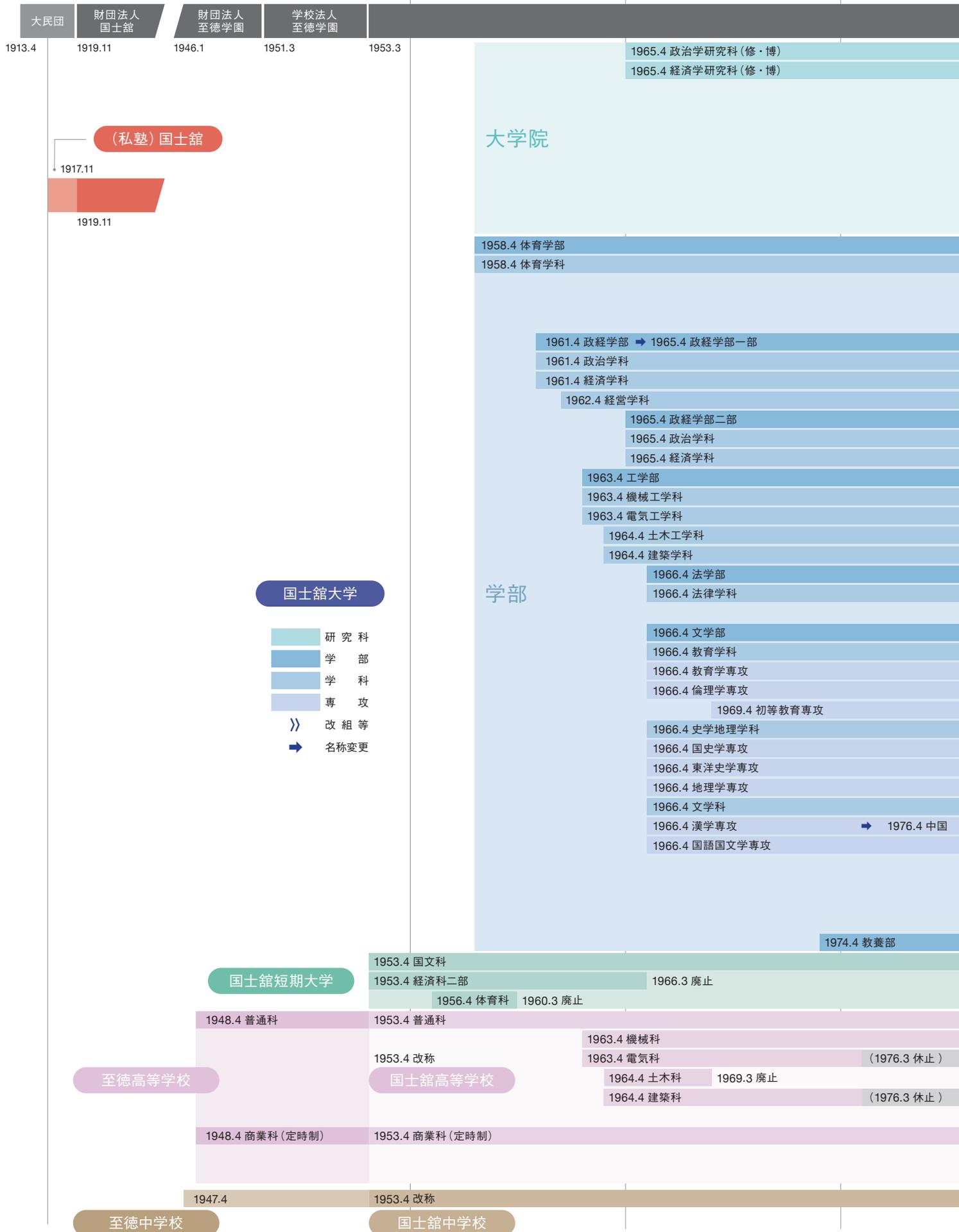
1917 大正6年	東京・麻布に私塾「国士館」を創立	1992 平成4年	多摩校舎(現多摩キャンパス)開設 体育学部移転
1919 大正8年	世田谷へ移転、世田谷校舎(現世田谷キャンパス)開設 財団法人国士館設置(現在地) 国士館高等部設置(昭和5年3月閉校)	1994 平成6年	大学院に工学研究科(修士)設置 国士館高等学校・中学校男女共学制導入(新校舎完成) 高等学校に定時制普通科(3年制)設置
1923 大正12年	国士館中等部設置(大正14年3月閉校)	1995 平成7年	大学院に法学研究科(修士)設置 国士館大学福祉専門学校(介護福祉学科)設置 (平成19年3月廃止)
1925 大正14年	国士館中学校設置(昭和24年3月廃止)	1997 平成9年	大学院に経営学研究科(修士)設置
1926 大正15年	国士館商業学校設置(昭和24年3月廃止)	1998 平成10年	中央図書館完成
1929 昭和4年	国士館専門学校(国漢剣道科・柔道科)設置 (昭和30年3月廃止)	1999 平成11年	大学院経営学研究科・工学研究科・法学研究科に 博士課程設置
1930 昭和5年	国士館高等拓植学校設置(昭和9年11月廃止)	2000 平成12年	体育学部に武道学科・スポーツ医科学科設置 高等学校に通信制普通科設置(令和元年12月廃止)
1942 昭和17年	国士館高等拓殖学校(満蒙支科・南洋科)設置 (昭和20年12月廃止)	2001 平成13年	法学部に現代ビジネス法学科、大学院にスポーツ・システム研究科 (修士)・人文科学研究科(修士)設置 工学部電気工学科を電気電子工学科に名称変更
1945 昭和20年	戦禍により校舎焼失	2002 平成14年	21世紀アジア学部(21世紀アジア学科)設置 工学部機械工学科を機械情報工学科、土木工学科を 都市システム工学科、建築学科を建築デザイン工学科に名称変更
1946 昭和21年	法人・学校名称を至徳学園に変更 (至徳専門学校、至徳商業学校、至徳中学校となる)	2003 平成15年	大学院スポーツ・システム研究科・人文科学研究科に 博士課程設置 政経学部を昼夜開講制に改組(平成20年4月撤廃)
1947 昭和22年	至徳中学校(新制3年制)設置	2004 平成16年	高等学校定時制普通科を昼間制に移行(男女共学制導入)
1948 昭和23年	至徳商業高等学校(新制3年制)設置(昭和24年3月廃止) 至徳高等学校(全日制普通科＝新制3年制、 定時制商業科＝新制4年制)設置	2006 平成18年	大学院に総合知的財産法學研究科(修士)、 グローバルアジア研究科(修士・博士)設置 国士館大学地域交流文化センター完成
1951 昭和26年	財団法人至徳学園から学校法人至徳学園に変更	2007 平成19年	工学部を改組し理工学部(理工学科)設置
1953 昭和28年	学校法人至徳学園を学校法人国士館の名称に復す(国士館高等学校、 国士館中学校となる。専門学校は至徳のまま、昭和30年3月廃止) 国士館短期大学(2年制)設置 国文科・経済科二部設置(経済科二部昭和41年3月廃止、 国文科平成15年3月廃止)	2008 平成20年	世田谷キャンパスに34号館(梅ヶ丘校舎)完成 体育学部にこどもスポーツ教育学科設置
1956 昭和31年	短期大学に体育科(3年制)設置(昭和35年3月廃止)	2009 平成21年	鶴川キャンパスを町田キャンパスに名称変更
1958 昭和33年	国士館大学設置 体育学部(体育学科)設置	2010 平成22年	大学院に救急システム研究科(修士)設置
1961 昭和36年	政経学部(政治学科・経済学科)設置	2011 平成23年	経営学部(経営学科)設置
1962 昭和37年	政経学部に経営学科設置	2013 平成25年	世田谷キャンパスにメイプルセンチュリーホール完成 大学院救急システム研究科に博士課程設置
1963 昭和38年	工学部(機械工学科・電気工学科)設置 (平成19年4月理工学部に改組、平成25年3月廃止)	2016 平成28年	政経学部政治学科を政治行政学科に名称変更 多摩キャンパスにメイプルセンチュリーセンター多摩完成
1964 昭和39年	工学部に土木工学科・建築学科設置 太宰府校地取得(平成25年4月閉鎖)	2017 平成29年	国士館創立100周年 国士館大講堂・国登録有形文化財(建造物)登録
1965 昭和40年	国士館大学大学院設置 政治学研究科・経済学研究科(各修士・博士)設置 政経学部二部(政治学科・経済学科)設置(平成19年3月廃止)	2020 令和2年	国士館楓の杜キャンパス開設
1966 昭和41年	鶴川校舎(鶴川キャンパス)開設 法学部(法律学科)設置 文学部(教育学科・史学地理学科・文学科)設置	2022 令和4年	多摩南野キャンパス開設
1974 昭和49年	教養部設置(平成8年3月廃止)		

1917 (大正6年)

1955 (昭和30年)

1965 (昭和40年)

1975 (昭和50年)



国士館大学

- 研究科
- 学部
- 学科
- 専攻
- >> 改組等
- ➔ 名称変更

国士館短期大学

至徳高等学校

国士館高等学校

至徳中学校

国士館中学校

1985 (昭和60年)

1995 (平成7年)

2005 (平成17年)

2015 (平成27年)

学校法人 国士館

1994.4 工学研究科 (修) 1999.4 (博)

1995.4 法学研究科 (修) 1999.4 (博)

1997.4 経営学研究科 (修) 1999.4 (博)

2001.4 スポーツ・システム研究科 (修) 2003.4 (博)

2001.4 人文科学研究科 (修) 2003.4 (博)

2006.4 総合知的財産法学研究科 (修)

2006.4 グローバルアジア研究科 (修・博)

2010.4 救急システム研究科 (修) 2013.4 (博)

2000.4 武道学科

2000.4 スポーツ医科学科

2008.4 こどもスポーツ教育学科

→ 2003.4 政経学部

(2003.4 昼夜開講制導入 2008.4 昼夜開講制撤廃) → 2016.4 政治行政学系

(2003.4 昼夜開講制導入 2008.4 昼夜開講制撤廃)

2017.3 廃止

2007.3 廃止

}} 2007.4 理工学部 (2013.3 工学部廃止)

→ 2002.4 機械情報工学科 }} 2007.4 理工学科

→ 2001.4 電気電子工学科 }} ・機械工学系 ・都市ランド → 2014.4 まちづくり学系

→ 2002.4 都市システム工学科 }} ・電子情報学系 スケープ学系

→ 2002.4 建築デザイン工学科 }} ・建築学系 ・健康医工学系 → 2019.4 人間情報学系

→ 2002.4 建築デザイン工学科 }} ・基礎理學系

2001.4 現代ビジネス法学科 (2006.4 昼夜開講制撤廃)

}} 2017.4 教育学科

(2017.4 募集停止) }} (3コース

}} (2018.4 2コース)

→ 2004.4 考古・日本史学専攻 }} 2017.4 史学地理学科

(2017.4 募集停止) }} (3コース

}} (2018.4 2コース)

→ 2004.4 地理・環境専攻 }}

2017.4 文学科

→ 2004.4 中国語・中国文学専攻 (2017.4 募集停止) }} (2コース

→ 2004.4 日本文学・文化専攻 }} (2018.4 1コース)

2002.4 21世紀アジア学部

2002.4 21世紀アジア学科

2011.4 経営学部

2011.4 経営学科

1996.3 廃止

2003.3 廃止

(1994.4 男女共学制導入)

(1997.3 休止)

2006.8 廃止

2006.8 廃止

2006.8 廃止

1995.4 情報理数科

2006.8 廃止 (2005.3 休止)

(1996.3 休止)

2006.8 廃止

1994.4 普通科 (定時制)

(2004.4 男女共学制導入)

2000.4 普通科 (通信制)

(2018.3 休止)

2019.12 廃止

(1994.4 男女共学制導入)

国士館大学福祉専門学校

1995.4 介護福祉学科

2007.3 廃止



昭和6年世田谷校地

人と社会を支える力

国土館要覧2024



学校法人 国土館

発行日 …… 2024(令和6)年7月1日  
発行 …… 学校法人国土館  
編集 …… 理事長室広報課

〒154-8515 東京都世田谷区世田谷4-28-1  
Tel 03-5481-3115  
<https://www.kokushikan.ac.jp/houjin/>  
本要覧は2024年5月1日現在の情報に基づいています。

